



おおくぼ ゆうすけ
大久保 裕介さん (20歳)
【緑陽台】

- 趣味 釣り、バイク
- 将来の夢 パン屋さん
- 今一番やりたいことは ジャマイカに行きたいです。
- 自分を一言であらわすと シャイです。

菊陽人りさ〜ち



「菊陽人りさ〜ち」に掲載を希望される方は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(屋間)」を明記のうえ
〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさ〜ち」係までお送りください。
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している方に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらよりご連絡いたします。



いちこざき しょう
一期崎 翔さん (20歳)
【緑ヶ丘】

- 趣味 釣り、バイク
- 将来の夢 警察官
- 今一番やりたいことは インドネシアへ行きたいです。
- 自分を一言であらわすと 人見知りです。

新しく届いた本

大激震	堺屋太一／著	実業之日本社
占領ノート	エリック・アザン／著・益岡賢／訳	現代企画室
街場の教育論	内田樹／著	ミシマ社
となりの「愛犬バカ」	勝俣和悦／著	祥伝社
「自分ルール」でいこう!	のぶみ／著	角川書店
男道	清原和博／著	幻冬舎
ボトスライムの舟	津村記久子／著	講談社
猫を抱いて象と泳ぐ	小川洋子／著	文藝春秋
ぼくたちはきつとすごい大人になる	有吉玉青／著	光文社
バリデギ 脱北少女の物語	黄晰暎／著・青柳優子／訳	岩波書店

開館時間 月・水・金・土・日／午前10時～午後6時15分
木／午前10時～午後8時
休館日 毎週火曜日・第3水曜日(館内整理日)
年末年始(12月28日～1月3日)
特別整理期間(年1回)

菊陽町図書館だより
ほんの森
菊陽町図書館 菊陽町大字原水1438-1
TEL.232-0404(図書館) TEL.232-7756(ホール)
FAX.232-7761 <http://www.kikuyo-lib.ne.jp>

●おはなし会のお知らせ **4月**
場所：おはなしのへや
☆朝のおはなし会(おはなしの森さんさん)
毎月第1・2水曜日 午前11時～11時30分
(4月1・8日、5月6日)
☆夕方のおはなし会(図書館職員)
毎週木曜日 午後5時～5時30分
(4月2・9・16・23・30日)
☆日曜のおはなし会(おはなしの森さんさん)
毎月第2・4日曜日 午後2時～2時30分
(4月12・26日、5月10・24日)

子ども読書の日特別企画のお知らせ

いつでもおはなし会(おはなしの森さんさん、図書館職員)
子ども達がいつ来館してもおはなし会を楽しむことができるように、午前11時～午後3時の毎時間おはなし会がスタートします。
◆日時 4月25日(土) ①午前11時～ ②午後0時～ ③午後1時～ ④午後2時～ ⑤午後3時～
◆場所 おはなしのへや

菊陽町図書館ホール 平成21年4月 催し物

〈平成21年3月2日現在確定分〉

日	曜	開場	開演	終演	催し物	主催者	入場方法	対象者
4	土	お問い合わせください			バレエ発表会	清水バレエスタジオ	無料	どなたでも
5	日	お問い合わせください			ピアノ発表会	向野さん	無料	どなたでも
7	火	休館日						
11	土	9:00	9:30	17:00	さん陽舞の愛好会発表会	さん陽舞の愛好会	無料	どなたでも
14	火	休館日						
15	水	休館日						
21	火	休館日						
26	日	10:00	11:00	17:30	春のおどり	サン企画	無料	どなたでも
28	火	休館日						

※準備、リハーサル、時間が未定の催し物などは記載していません。☆主催者の都合により内容変更の場合があります。
☆図書館駐車場が満車の際は、隣接する公園の駐車場をご利用ください。

平成21年11月分のホール予約を、5月1日(金)の午前9時30分から受付開始します。
抽選会を行いますので、時間までにお集まりください(認印をご持参ください)。

問い合わせ 図書館ホール事務室 ☎ 232-7756

菊陽旬会報

きくよう文芸

其処だけは日射ある如福寿草
雪降るや心弾みて血洗ふ
鉄を打つ踏鞴の炎勢や外は雪
狂ひ野火大親峰に生れをり
孫を抱く手応へ確か春を待つ
薫まるめ大根洗ふ小流れに
絵かき歌口ずさむ日の春炬燵
逝きし人の想ひ立ち切り落椿
満天星の紅き枝先雪降れり
ぶりを煮る母に猫の手煩はし
風花が付いては消える窓硝子
風邪予防家族で紅茶うがいです
豆まきのお面が小さいお兄さん
春陽濃し思はず通る針に糸

坂本百合子
田中 郁子
村田 正三
井 子文
財津 早雪
原野レイ子
西村ひとえ
カ 幸子
寺尾千代子
高橋 孝子
佐藤 颯
佐藤 航
佐藤 健
佐藤 節

客去りて俄に寒き夜となりぬ
紅少しちらりと籬の冬薔薇
たまやかに里雨けふり草萌ゆる
過ぎし今特攻遺書に出合ふ冬
寒紅を晴れ着の子にも引いてやる
さりげなく笑顔こぼされ冬帽子
枇杷の花風に擦り寄る厨窓
仰け反りて囁る聲の一途かな
ゆるやかな齢の中の梅一輪
残雪をそろりそろりと掃き寄せし
魁や梅一輪の庭日和
わが齢ふとふり返る炬燵かな
瑞々しぬくみもみえて冬苺
暮るる陽に頼むあしたの日向ぼこ

吉野 早苗
川口 豊
井上久美子
宮川ユキエ
日高 妙子
曾我 育代
曾我トモ子
紫藤 祥子
村上 朋子
田中 静香
野口 令史
松橋 強
佐藤 澄世
三島 一路

短歌会

朝ながら川面も湯宿も霧の中近くに人の声のみ聞こゆ
肌寒い風は今年の春を告げ庭の白梅静かに咲いた
雨水の日に輝ける春の庭広々として雲を映せり
山の端に家つきつきと立ち並び今年も見えざりしかな
ナベヅルは竿に連なり緩やかに澄みたる刈り田の上空を行けり
霧深く視界の悪き道を行く対向車のライトうるみて光る
暖かき国に生れし喜びを噛みしめおれば今朝氷点下
風のなき空より雪はふうわりとはかなく土に触れて消えゆく
冬の日の夜のしじまに聞こえる列車の音に耳を澄ましぬ

今村 貞子
上野 敬子
上野 陽子
岡本まさえ
菊川あさみ
下田 久子
皆嶋キクノ
森 敦子
柚井 玲子